

## 第3回大分市公共施設マネジメント推進委員会 議事録

1. 日 時 令和2年2月10日(月) 15:00 ～ 16:20

2. 場 所 議会棟3階 第五委員会室

3. 出席者

○委員 一宮 一夫(国立大分工業高等専門学校教授)  
坂元 英毅(日本文理大学准教授)  
福山 公博(株式会社日本政策投資銀行大分事務所長)  
河野 祐子(株式会社大銀経済経営研究所企画部次長)  
阿南 春美(有限会社エイチエム建築企画室一級建築士)  
角谷 幹男(大分市自治委員連絡協議会副会長)

4. 次 第 議 事

1. パブリックコメントの結果について
2. 大分市公共施設等総合管理計画(案)について
3. その他

事務局説明	<p><u>1. 開会</u></p> <p><u>2. 議事</u></p> <p>(1) パブリックコメントの結果について</p>
委員	<p>パブリックコメントのご意見の 19 番について、道路の側溝に蓋をしているのですが、開口部が大きく小学校低学年の子が朝通る時に、開口部に足が入って倒れてけがをすることがありました。</p> <p>県の方をお願いして、開口部に蓋をしてもらったら、けがをすることがなくなったので、市の道路なども点検してもらって、けがをしないように注意して欲しいと思います。</p>
委員長	<p>今日はこういう場があってご提案してもらえたのですが、通常の場合にはどのような対応をしてもらえるのですか。</p>
事務局	<p>通常、毎年学校や地域の方と一緒に、通学路の総点検をしております。当然、県道にかかる分は県にお願いしますし、市の部分は危険な個所を見付けた場合に、蓋かけなどはすぐに行っております。その中で今一番課題になっているのは、ガードレールの話で、総点検をさらに深めた場合、非常に多くの箇所ガードレールの設置が必要となりまして、その部分は順次 2 年かけて令和 2 年度までに行うようにしています。</p> <p>色んなご意見をいただいた部分については、地区に対してもこういう形になっていますと報告する中で、ご意見もいただきながら、私ども市の職員が点検をしています。その中で、お子さんの通学路及び高齢者が通行なさる道もありますので、そういう所の安全点検を、市民部の生活安全の部署と道路部局が合同で、地域の方や学校の方と一緒に会議体を作って行っているという状況でございます。</p>
委員	<p>もう一ついいでしょうか。別保の旧道、南北一号線に以前からグリーンベルトを引いてもらえないかとお願いしているのですが、道路が狭くてガードレールができない。ガードレールを作ると車が離合できない、側溝の上は歩道になっていないという事で、工事をする時に道路を少しでも広くして、グリーンベルトを引いてもらえないかという早急なお願いです。今までバイパス道路は、雨が降ったら車が渋滞して混雑してのが、最</p>

事務局	<p>近は抜け道で別保小学校のところを子どもの通学時間帯に車が沢山通って危ないので、ぜひ早急に公共下水の本管工事を進めて、グリーンベルトをお願いしたいと思います。</p> <p>担当課の方にも申し伝えます。下水の工事に合わせて道路の表面の再整備も行っていますので。車の通る規格や通学路としてのグリーンベルトが設置できるかという所も、学校のご意見なども聞きながらしっかりと対応していくつもりです。担当課の方に伝えておきます。</p>
委員長	<p>よろしいですか。具体的な項目とコメントに対する全体的な事につきましてご提案等があればお願いします。</p>
委員	<p>意見の提出者は7人の方がご意見されたという事ですね。関心が高い方がコメントを出してきているという状況なのかなと思います。</p> <p>全般的に考えると、今後のサステイナブル、持続可能な形で公共施設を運営していけないといけないのかなと思いますので、ここに書いている事、コメントいただいている事は、意識の高い方から指摘を受けている事という事なので、参考にしながら、一方で、今申し上げたサステイナブルな形でやっていく事を考えて行かないといけないのかなと思います。</p>
事務局	<p>おっしゃられた通り、7人というのは決して多くの方から寄せられたコメントではないのですが、今からの公共施設の在り方について、的を射た意見が多かったかなと感じています。後ほど説明させていただきますけれども、本編の方に反映させて、持続可能な公共施設の維持管理をできるように頑張っ取り組んで行きたいと考えています。</p>
委員	<p>ご意見の18番の所で、対話の機会をもって欲しいという話が出ていますが、7人が多いか少ないかという事もありますし、当然強い関心を持っていない方もたくさんいるわけですが、そういった方々もかなり強い利害関係を持っている訳なので、そういった層にもしっかりとアプローチしながら意見を集約していく必要があるだろうと思います。今までのように強い意見だけを聞いていく時代ではないので、色んな方の色んな要望を聞いていく必要があります。その中で意見交換や、あるいは市民に分かりやすく公表するという事ですが、例えばどういう形で、どういう頻度で、誰を対象として、どんな部局がという所の具体的なイメージがあれば教えていただきたいと思っています。</p>

事務局	<p>現時点で決まったものはございませんが、近年では、地域まちづくりビジョンという各地域の代表者からのご提言をいただいています。その本編には、公共施設マップなるものも地域ごとになっています。</p> <p>地域によっては、公共施設の建替えをワークショップの中で議論されており、例えば、施設を使わなくなったので、別の用途で市民活動用に使えないかという話などが出ています。</p> <p>そういう所が一番重要な話なのかなと考えています。その中には、将来を担う若者というのは、なかなかご参加いただけないのですが、PTAの若い30代～40代の役員の方等も入っていただいでご議論をいただいています。</p> <p>今後も地域まちづくりビジョンに関しては、フォローアップ会議を毎年行うようにしていきまして、地域ごとで公共施設の在り方を検討いただける一番の場ですので、そういう場を活用しながらしっかりと全体像もお示しする中で、各地域のこういったまちづくりをしたいという話を深められればと考えております。</p> <p>また、若い世代の所は学校向けの何らかの教室ができれば一番わかりやすいのかと考えています。公共施設のマネジメントゲームなど、現在、全庁的に取り組んでいますので、そういう手法も含めて教育委員会さんと協力する中で、次世代の方たちにも公共という意味の考え方をご理解頂ければと考えております。</p>
委員長	<p>恐らく今後は個別施設計画での議論になっていくと思いますので、分野ごとになっていくと思います。その時に、学校なら学校、住宅なら住宅となるのではなくて、地域という単位で戦略を考えて行かないといけないという部分も含めてご検討いただけたらと思います。</p>
委員	<p>この意見提出者7人と、意見された21件というのがあるのですが、どういった意味でしょうか。</p>
事務局	<p>7名の方から意見をいただいでいて、7名の方が一人一つの意見ではなく、複数の意見を提出していただいでいるという事です。</p>
委員	<p>7人の人が21件の意見を述べたという事ですか。</p>
事務局	<p>1人の人が複数の意見を述べているという事で、合計すると21件の意見になるということです。</p>

委員	<p>自治会として、鶴崎などの東部は、企業が進出した際に、体育館やプールを寄付されていて、公共施設についてあまり要望はありません。東部に何か施設を作ってくださいと言うと、大分市の中で東部が一番恵まれていると言われます。実際に中心部には施設が少なく、小学校も、昔は夏休みにはプールを開放されていたのですが、今は監視人がいない、親が出て来られないなどの理由で実施されていません。地域によってはそうで無いと思うのですが、スクラップアンドビルドのご意見など、こういった地域の方からの意見なのでしょうか。</p>
事務局	<p>パブリックコメントにご意見を寄せられた方は、年代も、住まわれている地区もバラバラです。将来の事を思うと、総論としてスクラップアンドビルドをしっかりと捉えていないといけないというご意見であり、ひとつの地域の事だけを念頭とした意見ではないと考えております。</p> <p>大局を見たご意見をいただいているというふうに捉えており、総論としては、今後大分市も人口が減っていくという予測の中で、公共施設は道路やプラント施設など様々ありますが、急に道路を廃止するなどという事ではございません。</p> <p>本編にも記載しておりますが、公共施設の約七割は市営住宅と学校です。これは時代の要請で住居が足りないという時代に、県営住宅や市営住宅を多く整備しています。市も5千戸を超える市営住宅を所管しています。また、学校に関しても、人口が爆発的に増えた時に小学校、中学校を昭和50年代に多く建設しております。その中で、中心部で言えば荷揚町小学校や中島小学校が統合され、碩田学園という新しい小中一貫校ができたり、佐賀関や野津原に関しても、学校の統廃合を進めたりという所でスクラップアンドビルドというその時代の、市民の方が使う施設で、増減できる部分をしっかりと統廃合も含めて検討していかないとけないという事です。そうでなくては、新しい市民サービスを担う施設を、時代の要請でつくりえないといけない際に、財政的に作れないということになることもあると思いますので、細かく個別の話をすると話がずれますけど、当然大分市の周辺部からもプールがあったらとか、体育館があったらというお話しは地域の方から要望で頂いていますが、個別の計画の中で照らして、スクラップできる公共施設はスクラップしながら、新たな市民ニーズに対応していくところは対応していく必要があるという所でございます。</p>
委員	<p>このパブリックコメントは、インターネットでの意見だけなのですか。</p>

事務局	<p>大分市ではどのパブリックコメントも、今はインターネットを通じた提出も気軽にできるようになっていますし、他にも各支所等にも紙を置いてアナログ的なものがありますし FAX もあります。封書で送られてくる場合もございます。</p>
委員	<p>支所などに用紙を置かれているのですか。</p>
事務局	<p>ええ、各支所に置いています。各支所で提出される方もいらっしゃいます。FAX で送られる方もいるし、やはりインターネットも最近では多くなって来ています。他のパブリックコメントにしてもそうです。他の計画のパブリックコメントも同様にデジタル的な回答ができる手法と、アナログ的な回答ができる手法を両方ご用意させていただいて、ご意見をいただくようにしています。</p>
委員	<p>市民課とかに。</p>
事務局	<p>市民課ではなく、各担当課の窓口です。</p>
委員	<p>最初にご案内して頂いたと思うのですが、このパブリックコメントの結果はホームページに載っていますか。</p>
事務局	<p>パブリックコメントの場合は、市民意見募集という正式な意見の募集になりますので、いただいたご意見に対する本市の考え方は示します。ホームページや各支所の窓口での公表などになります。意見を出された方も出されていない方でも閲覧できるようになっております。</p>
委員長	<p>今日の委員の方々からのご質問を考慮してなのですが、本市の考え方の所で、これをします、これをしますという事を書かせていただきますけど、この表現だけだと、これまではやっていなかったからこれをしますみたいに理解される可能性もあるので、これまでもこういう事をやっていますという記載があってもいいのかなと思います。ホームページに載せる時に、字数の関係で長い回答というのは大変かなと思いますけど、こういう取組をすでにやっているというのがあり、そして時代のニーズの変化とか、災害対応などについて、プラスαしましたとするのがいいのかなと思います。</p> <p>それは行政の応援をするだけではなくて、地域に住んでいる人たちが自分たちはこうやってしっかりされた所で生活ができているというのを</p>

事務局	<p>理解するのは、地域愛に繋がってきて、公共施設に対する考え方というのは、古いけど大切な考え方だと思います。自分達で丁寧に使っていくというような気持ちの醸成にも重要になってくると思います。</p> <p>委員長のご意見の通りです。本市の考え方の部分について、その辺りのところは少し追記させていただきます。</p>
委員長	<p>その他、コメント等ございませんか。</p> <p>それでは、二つ目の議題に移りたいと思います。大分市公共施設等総合管理計画（案）について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局説明	<p><b>2. 大分市公共施設等総合管理計画（案）について</b></p>
委員長	<p>基本的には、前回の会議を踏まえて改訂素案を作成し、それを市民向けにパブリックコメントに付して、委員以外の方からの違う視点からのコメントを頂戴して、そのご意見を受けて修正を加えたりしたものが、本日の改訂案という事です。ただし、前回までご説明いただいた計画の基本的な部分に変更していないということによろしいですか。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
委員長	<p>それでは、各委員の方からご質問等をお願いいたします。</p>
委員	<p>この基本方針は全体的にはこれで問題無いかと思っておりますけど、直近で福岡市が学校における民間プールの利用の促進として、授業で民間のプールを活用するという事を始めているそうなのです。</p> <p>先ほどのご説明のように、今後人口減少の対策を打っていく必要があるのでしょうし、それを見越した上で公共施設を適正に使っていくという事と、もう一つは、稼働率を上げるという事がすごく重要だと思っております。そういった意味では、プールなど特殊な施設で、特別な維持管理が必要な物については、他都市など参考になさる可能性があるのでしょうか。</p> <p>また、意見としては、そういうことを現状今まであまり考えていなかったようなことも、今後はこだわりなく色々やって行った方がいいのかなと思います。駅の近くの小学校にもしもプールが無くなれば、その分の市有地が増える形になりますし、配置する監視員とか教員も少なくて済むので、一方で民間のプールも平日日中に、学校の生徒さんが入ってくれば</p>

<p>委員長</p>	<p>稼働率が上がって、結果的に市民にとってもメリットがあるのかなと思いますので、そういう既成概念にこだわらないような部分も、将来的には考えて行った方がいいのかなと思っています。</p> <p>冬場はなかなかプールの事を考えないので、これから暖かくなった頃に真剣に考えるタイミングがあろうと思いますね。</p> <p>一方では、教育機関で働いていると、その時間だけ民間の施設に生徒とか学生を連れて行くと移動時間などが問題になって、2限目にプールがあつて、3限目に学校で授業があるのに帰って来られないという事が考えられますので、学校の方に来てもらうというのはどうかと思ったりするのですが、それは管理が厳しいのですかね。いかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、教育施設でも PPP、PFI の考え方を積極的に取り組もうとしています。その中で、例えば夏の期間や、一定の期間で行政も一部利用するけれども、スポーツクラブの利用も行うというのも提案としては成り立つ可能性があると思います。</p> <p>また、碩田学園のプールは温水プールにしております。9 学年を一つのプールでとなると、夏の時期だけでは泳げないという話があり、温水プールにしているのですが、そこを地域や一般の方が使えないのかという話もあります。温水プールなので、稼働率も含めて通年で使うべきという考え方もありますので。</p> <p>現在、市民向けの温水プールとしては、陸上競技場の隣と、南大分スポーツパークなど冬場でも利用できる施設を所管しています。このような施設は、改修の時には多額の費用もかかりますし、委員ご提案のあった部分について、今後、他市の動向も踏まえて検討していかないといけないと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>冬場はプールが使われない、その分稼働していないというのは、完全に空地と同じですね。もったいないですよ。</p>
<p>委員長</p>	<p>基本的には学校のプールというのは、水難事故対策で始めたというのがありますよね。そういう意味では、水泳といいますか、水に対する訓練というのは重要なのですが、そこに対してどこまでこれからも投資するかという事も含めて考える必要がありますね。</p> <p>福岡が始めたという事は、良い事例かもしれませぬので、また情報を収集してもらいながら、いい方向に持って行ってもらえればと思います。</p>

委員	<p>日本文理大学にプールがあるのですが、水を張っているのを見たことが無いです。安全基準とか分からないので、もしかしたら使えないのかもしれないですけど。</p>
委員長	<p>プールの話だけになってしまって恐縮なのですが、プールの維持管理はすごく手間がかかります。毎日水の管理をして、雨が降ったら水質も変わるし、すごく大変なことです。なおさらその上冬使っていないというのがもったいないですよ。一つの従来とは違った取り組みを持っていくいいポイントかもしれませんね。様々な切り口があるのかもしれませんがね。その他ございませんか。</p>
委員	<p>最後の方に説明をいただいた、今後のコストについてなんですけど、概要版の方の資料には、これは直近5年間の投資的経費の296億円とほぼ同額となりますという表現で、今回の見直しはこれでいいのかなと思うのですが、これを見ると大丈夫かなと思ってしまいそうなのですが、ちょっと色々と資料を見返すと、結局歳出が変わらなくても、歳入が減れば色々と厳しい状況がこれから出てくると思います。歳入のグラフの波を見ると、近年歳入が上がってきていたのも、人口が上がってきているのに合わせて上がってきているだけで、これから人口が減ればおのずと下がってくるという厳しい局面も予想されます。</p> <p>次に5年後に見直しがあるので、現時点での公共施設等総合管理計画としての切り口は確かにこれがベストな答えなのかもしれないですけど、市の財源があってできる事なので、将来の歳入の見込みのバランスみたいなのも現実的に5年毎の見直しの時にはもう少し踏み込んで。杵築市の心配の声じゃないですけど、長期的に捉えてその辺も共有してもらえるといいかなと思いました。</p>
事務局	<p>歳入ですけど、6ページに歳入歳出のところを書いておまして、歳入は1,765億円くらいありますが、これを見ると3年間くらいほぼ一緒なのですが、4ページの人口の所に戻りますけど、生産年齢人口が減っていますので、今後どうしても収入が落ちてくる可能性があります。</p> <p>また、歳出の部分は義務的経費が年々上がっていますので、そういう事を考えると、今の段階ではいいのですが、将来的に楽観視できるかといえは出来ないと考えています。本計画も長期的な視点の計画ではありますので、5年毎には確実に見直すということにしております。</p> <p>市の色んな計画も含めて、概ね10年計画であれ、5年毎くらいには時点修正をするようにしていますので、各種計画の情報も併せて、総合管理</p>

<p>委員長</p>	<p>計画も次期 5 年目には最新のデータ、最新の情報で修正と、方針の追加があれば追加させていただきたいと考えております。</p> <p>その他ございませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>今後、公共施設の使用料とか、今 1 時間いくらか分からないのですが、もし金額を上げるとかなった時の収入の増加や人口の増加と上手く金額を調整するというような検討は無いのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>使用料に関しては、直近では消費税増税の時にしか変更していないのですけれども、当然何らか検討を始める必要があると思っています。検討には外部の有識者も交えて、施設の維持管理費も含めてこういう公共施設であれば何割の利用者負担とすべきかある程度の基準を決めることや、その基準にも、用途によっては教育施設だからもう少し公共側が出すべきだとか、これは特殊な施設だからもっと利用者負担を出していただかないと維持できないとか、ある一定の基準についてもしっかりと有識者の方とご意見を交わしながら、市民にも情報を公開しながら検討していきたいと考えています。</p> <p>別府市が先行して料金の見直しをしています。近年、どこの自治体も人口減少局面に入っていますので、この見直しは避けて通れない話です。現在、計画の中では行政改革推進プランの中にも、使用料の見直しを掲げていますので、まだまだ内部的な話の段階ですけど、今後使用料の見直しを、市民の方も交えて、有識者の方も交えた議論を進めさせていただきたいと考えております。</p>
<p>委員長</p>	<p>一般的には、使用料というのは大分市の施設だったら、大分市民はどれくらいで、その他の市の方は少し高めとかというのが基本的な考え方ですかね。</p>
<p>事務局</p>	<p>今、周辺の 8 市町で大分都市広域圏という大きな圏域を設けていまして、公共施設の相互利用をできるようにしました。その中のルールで、各市町でルールが違いまして、他市の方が使う時は例えば 2 割増しですよというルールを採用しているところもあるのですが、そういったことも含めて、他の市町とこれからは公共施設を重複して持つのではなく、特に大きな公共施設は重複して持てない時代になっていますので、そういう所も調整を図りながら、しっかりと進めていきたいと思えます。</p>

委員長	<p>その他ございませんか。ご提示の計画案としては、今後人口の減少とかを含めて、確実にコンパクトシティ実現に向けて走っているという理解でいいのですか。</p>
事務局	<p>そういった時代の潮流は感じており、コンパクトシティとなった時は拠点づくりが大切です。その際に拠点から外れた地域をどう支援していくかという問題が、福祉施策だったり、交通施策だったり、たくさんありますので、しっかりと進み続けられる街づくりはしたいと考えています。ただ、現実として、現段階でいまだに水道が整備されていない地域も大分市の中にございますし、情報インフラとして電話回線は来てはいますけれども、ブロードバンドが来ていないという地域も市内の中に存在しております。そういう施策では、民間企業が行っている公共的な部分もありますから、一概に全地域、全てを網羅する事は不可能な話ですが、拠点はしっかりと守りながら、その拠点までをどうつないで行くかという所を進めている所です。地域ごとの拠点及び、その他の地域でもこれからも住んでいただいて、活動ができる所を市としても全力でも支援していくという事でございます。</p>
委員長	<p>今日の話は公共施設の確実な維持管理というのが大前提ですけど、災害や防災対策も絡んでくると、なかなか守備範囲が広い複雑な話になると思います。だから、こうしようという話ではないのですが、こういう機会に関係者だけでも現実をしっかりと理解するのも大切かなと思いました。</p>
委員	<p>別保は乙津川と大野川に挟まれた地域で、別保は人口が2万人くらいいます。雨が降って全員避難とかいう場合に、避難場所は3カ所しかない。鶴崎中学校、別保小学校、森町幼稚園のか3カ所しかなくて、体育館は乙津川の堤防以下なので、避難場所になっていない。教室も2階くらいまでは避難場所になっていないので、災害弱者だけでも入れる所がないという状態です。</p> <p>もしも小学校などで体育館などがリノベーションという事になるなら、乙津川以上の高さに上げてもらって、安心して避難場所として使えるように考えて欲しいです。</p>
委員長	<p>総合管理計画という事なので、防災もあれば、長寿命化もあるし利便性もあるという事を、総合的に市役所内で情報共有していただき、良い方向に持っていきましょうというのが今回のこの計画ですよ。改修などを</p>

<p>委員</p>	<p>する時にでも、情報を共有していただいて、安全な状況を作ってもらいたいなと思います。</p> <p>少し話は飛んでしまうのですが、先般神奈川県で斜面が崩れて高校生が亡くなったことがありました。ニュースを聞くと、私有地だという事もありますので、直接行政が工事とかはできないかもしれないですけど、行政で点検などをする時に、自分たちの守備範囲外の所もアンテナを張ってもらって、私有地についても、情報提供などをしてもらえると良いと思います。具体的なことをどこまでして欲しいという訳ではないのですが、少しアンテナを広げて点検等をしてもらえるといいかなと思います。</p> <p>それに関連して、施設の維持管理の面で考えると、維持管理をいかに安上がりにするかという事も重要かと思っていまして、点検の時に例えば今、橋梁とか道路、傾斜面とかでドローンを飛ばすとか、そうすると2～3人でかなり広範囲を点検できるのではないかなと思うのですが、そういう取組等もされていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>公共施設の橋などの点検でドローンを飛ばすのは、今年の夏、インフラのメンテナンス国民会議などでも発表しているのですが、民間企業とタイアップして試験的にやりましょうという話はしています。</p> <p>あと一部の部署の方でドローンを購入していまして、本格的な法定点検はまだ無理ですが、目視点検や状況把握等では活用させていただいております。災害が起きてからとか、通常人が登れない所もドローンを飛ばして状況確認するなどには活用していますので、これから活用が広がっていくと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p style="text-align: center;"><b>3. その他 (今後のスケジュール) について</b></p> <p>それでは、先ほどのとおり、委員の方からのご意見も出尽くしたようですので、これでいったん事務局にお返ししたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>3. 閉会</b></p> <p>委員長を始め、委員の皆さまには、本日の円滑な会議の進行にご協力をいただき、ありがとうございました。最後に企画課長の小野からお礼を申し上げます。</p> <p>これまで約6カ月かけてこの改訂の作業を進めてまいりました。委員の皆さま方にご協力をいただきまして、今回ようやく公共施設等総合管</p>

	<p>理計画の案として、議会にもご説明できるものができたと感じております。</p> <p>今後につきましては、本日いただいたご意見も踏まえて、事務局により最終の調整をさせていただいた上で、本委員会からの報告については、一宮委員長から市長へご報告をさせていただきます。その上で、委員の皆様には一宮委員長に今後の最終調整を一任して頂ければと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>この総合管理計画は今回も頂いたご意見も含めて、大変市政の幅広い施設整備、管理、それと財政面で言えば、財政支出等の幅広い議論をいただいた事に感謝いたします。</p> <p>今後私どもは、企画課に公共施設マネジメント推進室を配置しておりますので、市政全体の調整に積極的に関わりながら、いただいたご意見も踏まえて総合調整を行っていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>長時間、委員の皆さまにはこの公共施設等総合管理計画に携わっていただきまして、大変ありがとうございました。感謝申し上げます。</p> <p>それでは、以上を持ちまして第三回大分市公共施設マネジメント推進委員会を終了いたします。皆さまありがとうございました。</p>
--	---